

発行 NPO 法人名古屋市腎友会 名古屋市中区大須 1 丁目 17-12 TEL/FAX 052-218-1622
発行責任者 松浦一英 発行日 平成 26 年 3 月

■第 11 回 NPO 法人名古屋市腎友会記念総会開催

平成 25 年 4 月 21 日（日）午前 10 時から、
中外東京海上ビル 8 階 中外製薬（株）会議
室で NPO 法人名古屋市腎友会第 11 回記念総
会が行われました。出席者は約 89 名でした。

来賓者は、水谷正人名古屋健康福祉局障害
福祉部障害企画課課長、森田シャントアミロ
イド治療クリニック院長森田弘之先生、近藤
昭一衆議院議員など計 12 名が出席しました。
総会に引き続き記念講演が行われました。記
念講演の第 1 部は、共立眼科クリニック院長の長木康典

先生を迎え、「透析患者の眼疾患について」というテー
マで、主に 緑内障を中心とした講演でした。年齢 40 歳
以上の方の 20 人に一人の割合でいる緑内障患者は、特
に透析患者に多く、失明寸前まで気がつかない恐ろし
い病気ですが、早期発見されれば大丈夫なので検診を受
けるようにとの事でした。

第 2 部は、偕行会ウェルネスセンター 課長 健康運動指
導士の森山善文先生の「透析患者の運動療法」というテー
マの講演でした。以前は透析患者は運動はしないほうが
よいと言われていましたが、現在は、透析患者も運動し
たほうが病気の予後に良く、車椅子への移行も減少する
とのことでした。

両講演とも参加者の皆様には、大変有意義なものであ
ったようでした。



総会で挨拶をする奥村会長



講演する長木先生



講演する森山先生

■愛腎協「会員証（社員証）」の周知活動

NPO 法人名古屋市腎友会の親団体の一般社
団法人愛知県腎臓病協議会（愛腎協）が平成
25 年度より会員の皆様に会員カードとバッ
チを配布しました。愛腎協の会員である腎友
会も、会員カード、バッチの広報周知とポス
ター掲示を依頼のために、各市町村の福祉課
、消防署、警察署の訪問をおこないました。

- 1) 行政 名古屋市 16 区の福祉課の訪問をおこないました。
- 2) 消防署 名古屋市 16 区の消防署の訪問をおこないました。
- 3) 警察署 名古屋市 16 区の警察署の訪問をおこないました。



消防署での訪問風景

■名古屋市議会議員と面談

透析患者の自己負担をなくするため市会議員に働きかけました。

- 伊神邦彦 自民党市会議員（市議団団長）と面談
5 月 23 日（木）
- わしの恵子 共産党市会議員（市議団団長）と面談
5 月 23 日（木）
- 福田誠治 公明党市会議員（市議団団長）と面談
6 月 6 日（木）

■移植キャンペーン参加

平成 24 年 10 月 6 日（日）午前 10 時～11 時 名古屋駅周辺で行われた愛腎協
主催の「移植キャンペーン」に参加した。参加者は約 100 名であった。

■名古屋市陳情

平成 25 年 11 月 14 日（木）10:00 より名古屋
市健康福祉局会議室にて陳情が行われました。
名古屋市の司会にて陳情が始まり

- ①「腎不全患者の医療費助成」の堅持、
- ②「重度障がい者タクシー助成制度」、
- ③「透析患者が特養施設に入所できるように」
を訴えていきました。署名数は 7,188 筆で
した。



縦横局長に署名を渡す奥村会長

■第9回市民公開講座開催

平成25年12月1日(日)午前10:00～12:00 中外東京海上ビル8F 中外製薬(株) 会議室にて「第9回市民公開講座」が開催されました。

現在、透析患者の約4割が糖尿病が原疾患であることから、糖尿病を減少させる事が慢性腎臓病(CKD)を減少させ、その結果、透析患者の減少となることを目的とした講演会です。講師には、安田宜成先生 名古屋大学医学部附属病院準教授。座長には、春日弘毅先生 偕行会セントラルクリニック院長をお迎えしました。来賓には、松原史朗氏(名古屋市健康福祉局 参事)、川原弘久先生(医療法人偕行会グループ会長)、勢納八郎先生(偕行会城西病院院長)、片山勝之氏(一般社団法人愛知県腎臓病協議会会長)を迎えて、参加者は約120名と大盛況の中、講演会は行われました。

講演のテーマは、「**今日からできる糖尿病の予防と治療 慢性腎不全への進行を防ぐ為に**」。講演の内容は、腎臓とは、如何なる役目を持った臓器なのか? CKD(慢性腎臓病)とは、どのような病気で放置しておくとうなるのか? 糖尿病とCKD(慢性腎臓病)の関係、糖尿病における食事療法、運動療法、糖尿病の合併症の恐ろしさ等、多岐にわたる講義がおこなわれました。

そのあと透析患者の野村和敏さんの体験談が行われました。前向きな体験談は、「人工透析＝人生の終わり」と、今まで思っていた参加者の方にも、透析していても人生を楽しめるという希望が与えられたようでした。



「第9回市民公開講座」講演風景



講演する安田先生



体験談を話される野村さん

■CKD 対策講演会 in 天白区開催

平成26年2月23日(日)午前10:00～12:00、名古屋市天白区役所講堂にて「CKD 対策講演会 in 天白区」が開催されました。当日は、快晴で2月にしては、穏やかな天候でした。昨年の「第9回市民公開講座」に続いて、現在、透析患者の約4割が糖尿病から合併症として腎不全になられたかたが多いことから、糖尿病とCKD(慢性腎臓病)の関係を中心とした内容で行われました。講師には、湯澤由紀夫先生(藤田保健衛生大学病院 副院長)、座長には、小出滋久先生(藤田保健詠大学病院腎内科講師)をお迎えしました。来賓には、宮崎俊英氏(名古屋市天白保健所所長)、藤田民夫先生(名古屋記念病院 院長)、鍋島邦浩先生(平針記念クリニック 院長)を迎えて、参加者は71名と前回の「第9回市民公開講座」に比べるとやや少なめではありますが順調に行われました。

講演のテーマは前回と同じ「**今日からできる糖尿病の予防と治療 慢性腎不全への進行を防ぐ為に**」でした。講演内容は、今までの講演と少しことなるところが多く、まず外国と日本の透析医療、慢性腎臓病、糖尿病の違いを湯澤先生が解りやすく説明を行いました。次に、腎臓病についての知識が少ない、一般の方、及び糖尿病患者の為に、1人の男性が、健康診断で腎臓病が発見され、その治療、その後、腹膜透析、血液透析、最後は奥さんから腎臓の提供を受け腎臓移植をするまでの過程を寸劇形式にした講演のVTRを流して、始めての方でもイメージをつかみやすい講演を行いました。

そのあと、透析患者さんの代表者が体験談を行なわれました。皆さん、体験談を聞いて透析に対数する恐怖感が少し薄れたようでありました。



CKD 対策講演会 in 天白区風景



座長の小出先生



講演を行う湯澤先生